

## 協定書

和光市（以下「甲」という。）および東洋大学（以下「乙」という。）は、東洋大学学生が行う和光市の発展に貢献する実践的な研究に関して、下記の通り、協力することとする。

2020年7月17日

甲 埼玉県和光市広沢1番5号  
和光市  
市長 松本 武洋 

乙 東京都文京区白山五丁目28番20号  
東洋大学  
学長 矢口 悦子 

### 記

研究題目	アセットマッピング手法を活用した web 会議による市民ワークショップの実践的研究
研究期間	2020年7月から2021年2月末日まで ただし、甲乙合意の上で委託期間を延長することができる。
研究実践にかかわる項目	研究を実践する学生 東洋大学経済学部総合政策学科根本祐二ゼミナール 和光市プロジェクトチーム 研究を指導する教員 東洋大学大学院経済学研究科教授 根本祐二 東洋大学経済学部総合政策学科教授 塩田 徹
公表	甲及び乙は、当研究の成果を適切に公表する。
研究による成果物の知的財産権	知的財産権は乙に帰属するものとする。甲は、和光市における政策の立案、事務事業の遂行において、成果物を自由に利用することができる。
その他	別途、研究業務委託契約を締結する。

以上